

ソフトバンクとヤフーの合併会社が、インドのPaytmと連携し、バーコードを使った新たなスマホ決済サービス「PayPay」を今秋提供開始

PayPay株式会社

ソフトバンク株式会社

ヤフー株式会社

One97 Communications Limited (Paytm)

～ソフトバンクとYahoo!ウォレットの顧客基盤を活用し利用者を拡大。

ユーザーが読み取る方式は加盟店の決済手数料が3年間無料～

ソフトバンク株式会社（以下、ソフトバンク）とヤフー株式会社（以下、ヤフー）の合併会社であるPayPay（ペイペイ）株式会社は、バーコードやQRコードを使って決済ができる新たなスマホ決済サービス「PayPay」の提供を2018年秋から開始します。また、「PayPay」の提供に当たっては、ソフトバンク・ビジョン・ファンドのポートフォリオカンパニーで、インド最大の決済サービス事業者であるPaytmと連携し、同社の顧客本位のテクノロジーを活用して日本におけるスマホ決済を構築しサービスを拡大していきます。

日本は現金（紙幣・貨幣）で支払う習慣が根強く、現在のキャッシュレス決済比率は20%にとどまります。政府がキャッシュレス決済比率を2025年までに40%、将来的に世界最高水準の80%にすることを目指してキャッシュレス化を推進する中※¹、ソフトバンクとヤフーは日本のキャッシュレス決済の普及を促進し、利用者と加盟店の双方に利便性の高いサービスを実現するため、2018年6月に合併でPayPay株式会社を設立し※²、今秋から「PayPay」を提供します。なお、このたび連携するPaytmは、インドでデジタル決済のエコシステムをリードし、バーコードやQRコードベースのテクノロジーを開発しています。3億人以上のユーザーと800万の加盟店にシームレスなモバイル決済サービスを提供しています。

PayPay株式会社とソフトバンク、ヤフー、Paytmは、ソフトバンクや口座数4,000万超の「Yahoo!ウォレット」の顧客基盤を活用した利用者の拡大、ソフトバンクが持つ営業ノウハウを生かした加盟店の獲得、Paytmの技術を活用した利便性の高いサービスの開発を進め、スマホ決済におけるユーザー数ナンバーワン、加盟店数ナンバーワンのサービスを目指します。

なお、「PayPay」の提供開始に伴い、現在ヤフーが提供している「Yahoo!ウォレット」のスマホ決済機能※³は、今後提供を終了（時期未定）し、「PayPay」とYahoo! JAPAN IDを連携させ、「Yahoo! JAPAN」アプリから「PayPay」の機能を利用できるようにする予定です。

< 「PayPay」の概要 >

■開始時期：2018年秋に予定しています。

■利用方法：「PayPay」専用アプリ、または「Yahoo! JAPAN」アプリから利用できます。

■利用可能店舗：全国チェーンの店舗から、各地域の小規模店舗まで幅広く利用いただける予定です。詳細は後日発表予定です。

■主な特長：

- ・クレジットカード、電子マネーの2種類から支払い方法を選択できます。
- ・店舗側がレジ付近などに提示したQRコードをユーザーがアプリで読み取る方式（ユーザー読み取り方式）と、ユーザーが提示したバーコードやQRコードを店舗のレジでスキャンする方式（店舗読み取り方式）の2つを提供します。

■加盟店向けの施策：

- ・ユーザー読み取り方式は、QRコードを店舗に掲示するだけで、大きな負担なく低コストで簡単に導入いただけます。さらに、店舗側が負担する決済手数料を開始から3年間無料とします。
- ・今後、店舗にユーザーを集客するためのさまざまな施策を実施予定です。

※1：出典「[経済産業省『キャッシュレスビジョン』](#)」（外部サイト）

※2：2018年7月に、設立時の社名であるPay株式会社から社名を変更しました。

※3：（ご参考）ヤフーからのプレスリリース

「[Yahoo! JAPAN、バーコードを使った実店舗でのスマホ決済機能を提供開始](#)」（2018年6月5日）

PayPay株式会社について

社名：PayPay株式会社

設立：2018年6月15日 ※同年7月24日にPay株式会社より社名変更

本社所在地：〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワー

代表取締役社長：中山 一郎

[ウェブサイト](#)（外部サイト）

Paytmについて

Paytmはインド最大のデジタル決済企業であり、3億人以上のユーザーと800万のオフライン加盟店に包括的な決済ソリューションを提供しています。Paytmのプラットフォームは、公共料金支払いや、映画のチケット、旅行予約、授業料、携帯と衛星放送のリチャージなど、アプリを通じてさまざまなピア・ツー・ピア決済を即座かつ安全に提供します。Paytmユーザーは、銀行口座、カード、Paytm Walletを使用して、Paytm QRを通じて加盟店でオフラインで支払いを行うこともできます。インド最大のモバイルインターネット企業であるOne97

Communicationsが所有するPaytmは、Vijay Shekhar Sharmaによって設立され、デリー首都圏に本社があります。同社には、ソフトバンク・ビジョン・ファンド、SAIFパートナーズ、アリババ・グループ、アント・フィナンシャルなどが投資しています。

[ウェブサイト](#)（外部サイト）

● SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。

● その他、本プレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。